

映画「めぐみ」

上映会

当時13歳、中学1年生の女の子が、
夕方、学校からの帰宅途中に突然姿を消しました…。



平成31年 **2月6日水** 14:00～16:00

美和文化会館大ホール（あま市花正地先1番地1）

プログラム

- 開会あいさつ
- 政府の取組について（政府拉致問題対策本部）
- 映画「めぐみ—引き裂かれた家族の30年」上映

すべての拉致被害者救出を

入場無料

※申込不要

定員300名

（当日先着順）

映画 めぐみ ―引き裂かれた家族の30年

ストーリー

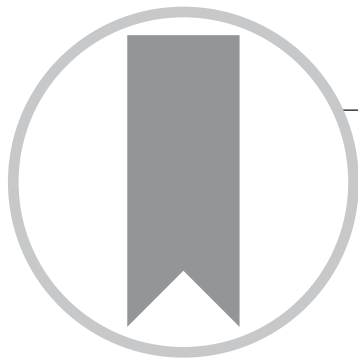
1977年11月15日朝、いつものように学校へ出かけた、当時13歳、中学1年生の女の子が、夕方、学校からの帰宅途中に突然姿を消しました。

横田さんご一家の平和だった日々は、その瞬間から一変し、あらゆる事態を想像しながら、無事を祈り、帰ってこない娘めぐみさんを捜し続けることになりました。その実態が〈北朝鮮による拉致事件〉という途方もないものとは思いませんでした……。

それから30年――。怒りや悲しみに包まれながらも、めぐみさんのご両親はめぐみさんの生存を信じ、めぐみさんを取り戻すための果てしない闘いの日々が続いているのです。

その凛々しくも強く懸命な姿は多くの人の共感を呼び、日本政府だけでなく、多くの国を動かすまでになりました。この映画では、その様子が克明に描かれています。

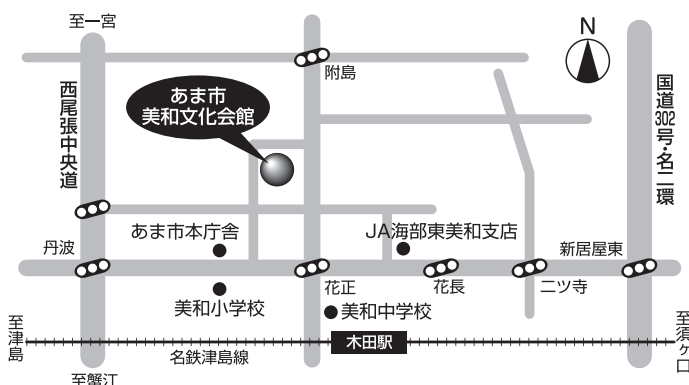
(政府拉致問題対策本部HPより)



「取り戻す」ためのシンボル ブルーリボン

拉致被害者の救出を求める国民運動は、ブルーリボン青色を運動のシンボルにしています。

青色は、被害者の祖国日本と北朝鮮を隔てる「日本海の青」を、また、被害者と御家族を唯一結んでいる「青い空」をイメージしています。



お問い合わせ

あま市 企画財政部 人権推進課

TEL.052-444-0398(直通)

FAX.052-441-8330